



【事業類型】一般型

有限会社 オサダ

事業テーマ

最新式畳制作機械の導入により生産性の向上・品質の安定化・省力化と新型畳開発による事業の拡大

【対象類型】ものづくり技術



断面図

●本事業への取組みの経緯・目的

畳業界は住宅業界の洋風化や核家族化の進展に伴い近年ますます厳しい環境にあります。新規需要を掘り起こすため、世界で初めて歩きやすい床材の衝撃緩和畳床の新規開発を行う事にしました。子供、高齢者にやさしい畳の開発です。歩きやすく転倒した時に怪我をしにくい居心地の良い衝撃緩和畳床の畳の製作のためより精度良く生産性の向上を目的とした機械の開発を依頼しました。

衝撃緩和畳床の畳には、（動作時の硬さ）（衝撃加速度G値）（局部圧縮）の三点が重要です。

●実施内容

最新式の設備を導入して以下の事を実現しました。

- ・衝撃緩和畳の加工精度の向上
- ・部屋の大きさはすべて異なるため採寸割付ソフトを導入し各製造機械にノンラインで送る。
- ・厚さ10mm～65mmまで終着切断できる平刺機械（畳寸法精度の向上 ± 0.3 mm 従来の機会 ± 1 mmの精度）
- ・畳べりの横側を縫着する返し機械
- ・作業環境向上のための集塵機の導入
- ・毎時20畳～30帖作れる 生産性の向上と衝撃緩和に適した機械



事業実施の成果

他社に負けない寸法精度になり瞬時に作れて生産性が向上。特に衝撃緩和畳の仕上りが向上しました。

平成30年5月衝撃緩和畳床としてJISA1917に制定され令和元年ベターリビング（通称BL）優良住宅部品に衝撃緩和畳が認定されました。

国土交通省の次世代住宅ポイントにも衝撃緩和畳が採用されました。



災害時、特に洪水など衝撃緩和畳は浮力が50kg以上あるので避難ボートの役割になり体の悪い方を運ぶことができます。

今後の展望

怪我しにくく医療費削減の一役を担う（床材）畳として介護施設、一般住宅、保育園、集会場などの普及目指し畳業界全体で取り組みたい。色々な部屋にマッチした畳の開発をしていきたい。

社長から一言



代表取締役社長 長田 久富

伝統の畳技術を残しながらその技術を如何に機械に反映させ、従来の畳の良さと現代にマッチした畳の開発と消費者に喜んで頂ける畳造りを考えております。



企業データ

主な事業・業種	内装業 畳の製造販売
得意分野	畳製造
所在地	本社・事業実施場所：〒294-005 千葉県館山市正木787-27
TEL	本社・事業実施場所：0470-20-5280
FAX	本社・事業実施場所：0470-20-5270
設立	平成9年2月3日
代表者	代表取締役社長 長田 久富
従業員数	5名
資本金	900万円
売上高	—
URL	http://www.tatami-nihon1.com/
Email	osada@tatami-nihon1.com